



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼経理部長

(氏名) 伊藤 英津生

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,227	△5.1	264	△53.2	442	△41.6	268	△54.3
23年3月期第2四半期	6,560	1.8	564	63.1	757	44.9	587	1.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 296百万円 (△44.5%) 23年3月期第2四半期 533百万円 (—)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.00	—
23年3月期第2四半期	59.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,842	16,225	70.9
23年3月期	21,799	16,130	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,476百万円 23年3月期 15,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,332	△5.5	587	△38.7	836	△36.1	465	△53.0	46.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,010,000 株	23年3月期	10,010,000 株
24年3月期2Q	52,747 株	23年3月期	52,648 株
24年3月期2Q	9,957,302 株	23年3月期2Q	9,959,644 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)のわが国経済は、震災からの復興の兆しが見え始めているものの、継続する円高や株価低迷などによる企業収益への影響に加えて、欧州の債務不安問題と米国景気の減速懸念が響いて先行きが見通せない状況にあります。

こうした環境下、当社グループの業況は、主力の曳船事業は増収となったものの、旅客船事業、売店・食堂事業が震災の影響、風評被害等を受けて売上高が大きく減少し、グループ全体の売上高は6,227百万円(前年同期比5.1%減)となりました。利益面では営業利益が264百万円(前年同期比53.2%減)、経常利益が442百万円(前年同期比41.6%減)、四半期純利益は268百万円(前年同期比54.3%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業セグメントは、震災後回復の兆しは見られるものの、曳船作業対象船舶の東京湾への入出港数が自動車専用船、コンテナ船を中心に減少し総作業数は減少しました。一方でLNG船の増加に伴う警戒船の作業や海難事故救助などの特別作業が増え増収となりました。この結果売上高は4,704百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

一方利益面では燃料油価格の上昇を始め、修繕費、船員関係の人件費等が嵩み売上原価が増加したことにより、営業利益は319百万円(前年同期比27.7%減)となりました。

旅客船事業

旅客船事業セグメントは、カーフェリー部門においては積極的な営業活動を展開したものの、震災の影響や東京湾アクアライン通行料金の大幅値下げの継続(3年間延長)により、車両、旅客ともに大幅な減少となりました。

横浜港の観光船部門は第1四半期の不調が響いて、前年同期比乗船人数が15.8%、売上で16.6%減となりました。また交通船部門も特に作業船で作業数が減少し両部門併せての売上高は14.7%の減少となりました。

この結果、売上高は1,162百万円(前年同期比18.1%減)となり34百万円の営業損失(前年同期は112百万円の営業利益)となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業セグメントは、団体客、個人客向けに多彩な新企画を提案し誘致を図ったものの、震災や風評被害等が依然大きく影響し、主要顧客である東京湾フェリー乗船客が引き続き減少した結果、特に団体観光客を主体とする食堂部門の売上が低迷し、全体の売上高は360百万円(前年同期比27.3%減)となりました。利益面では各部門ともコスト削減を図ったものの、上記売上減をカバーできず20百万円の営業損失(前年同期は10百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、43百万円増加し21,842百万円となりました。これは主に現金及び預金や長期預金が317百万円増加し、船隊整備に伴う建設仮勘定が160百万円増加しましたが、船舶の減価償却が進んだことで432百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、52百万円減少し5,616百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が176百万円増加し、未払法人税等が239百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、95百万円増加し16,225百万円となりました。これは主に四半期純利益が268百万円計上されましたが、剰余金の配当を199百万円実施したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.2%増加し70.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響等により合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりましたが、最近の業況および業績動向、下期の懸念材料（輸出減による入出港船舶数減少、燃料油価格の動向等）を踏まえ、平成23年11月1日に「業績予想に関するお知らせ」を公表しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,229,198	7,446,285
受取手形及び売掛金	2,439,858	2,445,664
商品	27,143	24,576
貯蔵品	89,764	103,520
繰延税金資産	127,007	108,334
その他	321,183	382,082
貸倒引当金	△21,483	△11,615
流動資産合計	10,212,671	10,498,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	324,085	348,785
船舶(純額)	4,968,449	4,536,050
土地	1,311,489	1,310,442
その他(純額)	40,457	204,986
有形固定資産合計	6,644,481	6,400,265
無形固定資産		
	19,917	42,966
投資その他の資産		
投資有価証券	1,386,716	1,394,468
関係会社株式	1,741,850	1,701,589
繰延税金資産	268,427	269,554
その他	1,573,410	1,582,499
貸倒引当金	△48,298	△47,502
投資その他の資産合計	4,922,106	4,900,610
固定資産合計	11,586,506	11,343,841
資産合計	21,799,178	21,842,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,549	1,016,371
短期借入金	1,656,537	1,645,337
未払法人税等	397,005	157,425
役員賞与引当金	40,000	17,500
賞与引当金	219,698	219,133
その他	147,654	300,431
流動負債合計	3,300,445	3,356,199
固定負債		
長期借入金	137,871	117,703
退職給付引当金	1,199,437	1,158,709
役員退職慰労引当金	394,002	346,756
特別修繕引当金	353,601	339,464
繰延税金負債	166,881	168,139
資産除去債務	20,781	20,813
負ののれん	94,841	87,963
その他	1,302	21,179
固定負債合計	2,368,718	2,260,730
負債合計	5,669,164	5,616,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,097,863	15,167,604
自己株式	△38,974	△39,022
株主資本合計	15,634,746	15,704,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,204	△25,247
為替換算調整勘定	△197,892	△202,628
その他の包括利益累計額合計	△222,097	△227,875
少数株主持分	717,364	749,196
純資産合計	16,130,013	16,225,760
負債純資産合計	21,799,178	21,842,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,560,102	6,227,892
売上原価	4,927,592	4,920,815
売上総利益	1,632,509	1,307,077
販売費及び一般管理費		
販売費	166,257	138,831
一般管理費	901,600	904,116
販売費及び一般管理費合計	1,067,858	1,042,948
営業利益	564,651	264,129
営業外収益		
受取利息	6,118	4,972
受取配当金	50,506	37,009
負ののれん償却額	16,407	6,877
持分法による投資利益	114,308	114,589
その他	22,021	31,332
営業外収益合計	209,363	194,782
営業外費用		
支払利息	15,935	14,527
その他	492	1,667
営業外費用合計	16,427	16,195
経常利益	757,586	442,715
特別利益		
固定資産売却益	250,987	37,563
特別修繕引当金戻入額	13,519	—
受取保険金	—	11,289
特別利益合計	264,506	48,852
特別損失		
投資有価証券評価損	77,347	—
固定資産売却損	—	17,479
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,224	—
特別損失合計	82,571	17,479
税金等調整前四半期純利益	939,522	474,089
法人税、住民税及び事業税	317,459	156,523
法人税等調整額	△38,145	16,642
法人税等合計	279,314	173,166
少数株主損益調整前四半期純利益	660,207	300,922
少数株主利益	72,450	32,034
四半期純利益	587,757	268,888

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	660,207	300,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,482	98
持分法適用会社に対する持分相当額	△55,987	△4,735
その他の包括利益合計	△126,469	△4,637
四半期包括利益	533,738	296,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,258	263,110
少数株主に係る四半期包括利益	70,479	33,175

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,642,812	1,420,772	496,517	6,560,102	—	6,560,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,030	35,552	2,794	43,376	△43,376	—
計	4,647,842	1,456,324	499,311	6,603,478	△43,376	6,560,102
セグメント利益	441,394	112,586	10,670	564,651	—	564,651

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,704,061	1,162,940	360,891	6,227,892	—	6,227,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,015	27,378	2,310	33,704	△33,704	—
計	4,708,076	1,190,319	363,201	6,261,597	△33,704	6,227,892
セグメント利益又は損失(△)	319,146	△34,663	△20,353	264,129	—	264,129

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。